

豊かなところを育む活動

県立日高高等学校

本校は、昭和25年に県立豊岡高等学校日高分校として創立され、昭和44年、現在の日高高等学校として独立しました。その後、時々の時代のニーズに応じた学科の改編を重ねながら発展し、現在は、福祉科、看護科・看護専攻科（5年一貫教育）という特色ある学科を有する、県下はもちろん全国でも数少ない専門高校としての地位を築いています。将来、介護福祉士、看護師を目指す生徒が県下全域から但馬の地に集い、日々勉強に、実習に、励んでいます。

生徒は、中学校卒業時に大きな志を持ってこの日高高校に入学してきます。本校PTAとしては、そうした生徒たちの夢の実現を支援することこそが使命だと考え、医療・福祉系の道へ進む生徒たちに、豊かな心を育む教育を推進できるよう、地域と一体となって活動しています。具体的には、地元夏祭りでの巡回パトロール、通学マナー指導、学校祭でのバザー出店、奉仕作業、講演会の助成など様々なことに取り組んでいます。一方、生徒の約40%が寄宿舎生という現状を踏まえ、寄宿舎保護者会も設置し、遠方にお住まいの保護者とも交流する機会を設け、親睦を深めています。



本校PTAは、会員も少数かつ県下全域に広がっているため、まとまった活動が難しく、また近年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年どおりの活動を行うのが困難な状況ですが、地域の福祉と看護を担う人材育成に、私たちPTAが少しでも貢献できるよう、今後も活動を続けていくつもりです。

(PTA会長 土生田 雅之)